

浪江町再生可能エネルギー推進計画について

1. 浪江町の再生可能エネルギーの位置づけ

福島新エネ社会構想 3本の柱（経済産業省／福島新エネ社会構想実現会議）

（1）再生可能エネルギーの導入拡大

⇒ 本計画において導入拡大方策等を検討

（2）水素社会実現に向けたモデル構築

⇒ 浪江町への大規模水素製造拠点の立地決定

（3）スマートコミュニティの構築

⇒ 浪江町スマートコミュニティマスタープラン策定済み

※福島県も「再生可能エネルギー先駆けの地」として2040年までに県内のエネルギーの100%相当量を再エネで生み出すことを目標として掲げている。

浪江町復興計画【第二次】 施策3 （浪江町）

「エネルギーの地産地消の実現と新しい産業の創出」

《目指す姿と取組》

再生可能エネルギーを利用したまちづくりに向けて、具体的な導入時期、導入地域、町民意向の反映、効果的かつ柔軟な土地利用等を検討し、実施まで進める必要があります。このため、町の「再生可能エネルギー推進計画」を早期に定め、整備を進めます。

2. 浪江町再生可能エネルギー推進計画の目的、内容

（1）計画の目的

浪江町の再生可能エネルギー導入推進に向けての具体的な計画を策定し、再生可能エネルギーを利用したまちづくり及び福島新エネ社会構想及び浪江町復興計画【第二次】を実現していくことを目的とする。

（2）計画の内容

- ・ 浪江町を取り巻く状況の整理
- ・ エネルギーの需要及び供給可能量の推計
- ・ 再生可能エネルギー導入適地等の整理
- ・ 上記を踏まえた、再エネ導入推進のための基本方針
- ・ 具体的な施策及び事業

など